

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成28年3月10日

計画の名称	矢掛町地域住宅等整備計画				重点計画の該当
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	矢掛町		
計画の目標					

『住んでいてよかったといわれる町づくり』につながるような住環境の向上を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・公営住宅における新法後の建設戸数の割合
- ・空き家を改修した地域コミュニティ、地域活性化の中心となる施設の戸数

定量的指標の定義及び算定式

公営住宅における新法後の建設戸数の割合
 （公営住宅建設戸数の割合）＝（新法後の公営住宅建設戸数）／（全公営住宅戸数）（％）

空き家再生等推進事業による空き家改修戸数

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H28末)	
6%	-	9%	※中間目標は任意
0戸	-	3戸	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	572百万円	A	514百万円	B	0百万円	C	58百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	10.1%
-------	-----------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	---	------	---------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業)	公営住宅新設(4戸)	矢掛町						50	
1-A1-2	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業(公的賃貸住宅家賃低廉化事業)	公的賃貸住宅家賃低廉化事業(14戸)	矢掛町						48	
1-A1-3	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業等)	空き家再生等推進事業(3戸)	矢掛町						201	
1-A1-4	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業(地域優良賃貸住宅整備事業)	特定公共賃貸住宅新設(12戸)	矢掛町						200	
1-A1-5	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業)	公営住宅等長寿命化計画策定	矢掛町						15	
合計												514			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	-	公営住宅等整備事業(用地取得)	692㎡	矢掛町						13	
1-C-2	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	-	空き家再生等推進事業(設計及び監理)	設計及び監理	矢掛町						29	
1-C-3	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	-	地域優良賃貸住宅整備事業(用地取得・物件補償及び駐車場整備)	1,921㎡, 24戸	矢掛町						16	
合計												58				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	用地取得により団地建設が円滑に実施することができる。	
1-C-2	改修に必要な設計及び監理により円滑に事業を実施することができる。	
1-C-3	用地取得及び物件補償により団地建設が円滑に実施でき、また駐車場の整備により入居者の生活の質の向上が期待できる。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業



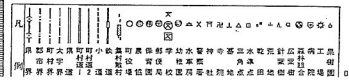
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

(参考様式3)

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	矢掛町地域住宅等整備計画		
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)	交付対象	矢掛町

矢掛町全図	<p>1-A1-1 公営住宅等整備事業 1-A1-2 公的賃貸住宅家賃低廉化事業 1-A1-3 住宅地区改良事業等 1-A1-4 地域優良賃貸住宅整備事業 1-A1-5 公営住宅等ストック総合改善事業 1-C-1 公営住宅等整備事業(用地取得) ・用地取得により、団地建設が円滑に実施することができる。 1-C-2 空き家再生等推進事業(設計及び監理) ・改修に必要な設計及び監理により円滑に事業を実施することができる。 1-C-3 地域優良賃貸住宅整備事業(用地取得・物件補償及び駐車場整備) ・用地取得及び物件補償により団地建設に円滑に実施でき、また駐車場の整備により入居者の生活の質の向上が期待できる。</p>	
	公的賃貸住宅家賃低廉化事業 (新小林住宅)	
公営住宅等整備事業 (新第2小林団地)	住宅地区改良事業等 (谷山邸、竹内邸、守屋・赤沢邸)	
地域優良賃貸住宅整備事業 (コーポ三谷駅前)		
	1 : 50,000 1000 2000 3000	

社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅計画に基づく事業等タイプ)

計画の名称: 矢掛町地域住宅等整備計画

事業主体名: 岡山県矢掛町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
★①計画の目標が基本方針と適合している。	○
★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
★④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ その他(地域コミュニティ、地域活性化の中心となる施設の改修)	○
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
II. 計画の効果・効率性	
★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。 (評価結果として該当するものに○) ア 80点以上 イ 60~79点 ウ 60点未満	
III. 計画の実現可能性	
★①事業熟度が十分である。	○
★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
★③地域住宅計画を公表することとしている。	○
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
⑤計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○
⑥計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	

(★は必須事項)